

大会参加者向けガイドライン（第3版）

関東大学女子バスケットボール連盟

新型コロナウイルスの拡大が未だに世界的な規模で収束に向かっていません。国内では、緊急事態宣言発令こそないもののまん延防止等重点措置がようやく解除されたばかりです。特に現在流行している変異株のオミクロン株については重症化するリスクは低いですが、感染力が非常に高く、これまで以上の感染防止対策が必要となっています。今後はさらなる変異株の感染急拡大も懸念されています。

このガイドラインは、「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第4版」に従って、感染を拡大させないことを目的に当連盟大会参加者向けに作成しました。ぜひ、ご一読いただき、普段からご自分や仲間を守るために、理解し、励行し、大会参加にあたっては、本ガイドライン記載事項の遵守を徹底してください。また、チームの感染対策責任者の皆さまには「2022 感染対策責任者向けガイドライン」も合わせてご確認くださいませう願います。

大会の開催について

1. 大会開催の判断基準

本連盟は、新型コロナウイルス感染症拡大の兆候ありと判断した場合は、大会の中止について適切な判断をすることを厭いません。

判断基準は「政府、都道府県（知事や教育委員会等）、行政機関（首長や市町村教育委員会等）から発出されるイベント開催制限等により活動制限や活動停止が指示された場合および本連盟の総合的判断」とします。

2. 大会中止を検討しなければいけない状況

- ①感染拡大が深刻化し、社会的にスポーツイベント開催が懸念される場合
 - ②不可抗力（都道府県の移動制限、イベント開催制限）により参加チームの大多数が大会に参加できない場合
 - ③チーム事情（チーム内に感染者や濃厚接触者がでた、大学の方針で大会参加許可が降りない等）により参加チームの大多数から辞退・棄権があった場合
- ※参加できなくなったチーム数の参加予定チーム数における割合については、感染状況や社会情勢を見極め、JBA ガイドラインを踏まえて大会毎に判断します。
- ※なお、辞退・棄権理由については偏見、風評被害を避けるため詳細な公表は控えさせていただきます。

大会への参加にあたって

本連盟は以下の場合、出場チームに対して、出場禁止、出場辞退の勧告、参加資格取り消しの措置をとることができます。

- ・チーム内の感染状況について、報告義務を怠ったり、虚偽の報告をした場合
- ・出場チーム内に感染が疑われる者が生じ、チームとしての安全性が試合当日までに判断できない場合

※具体的には、「2022 感染対策責任者向けガイドライン」6 ページの「II 大会参加の判断基準」をご覧ください。

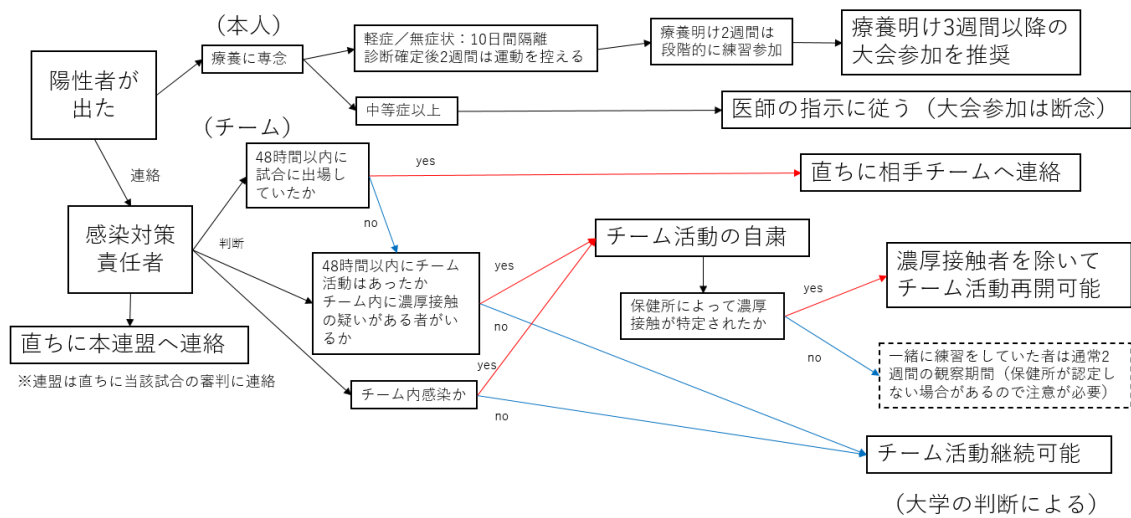


図1 チーム内に陽性者出た場合の流れ

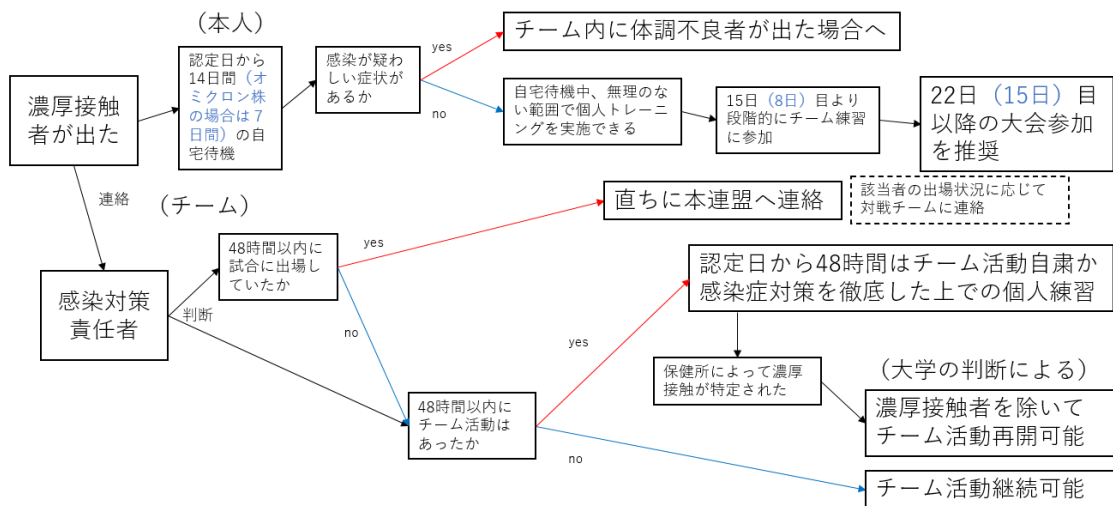


図2 チーム内に濃厚接触者が出た場合の流れ

なお、チーム内や対戦したチーム内に感染が疑われる症状が出た場合についても、「2022 感染対策責任者向けガイドライン」に詳細が記載されていますので、そちらをご覧ください。

1. 事前対応～試合会場入り

①毎日の体調チェック、行動記録の実行とデータの管理

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、他の人にうつしてしまう危険性は発症 2 日前から発症 5 日後くらいまでが一番高いといわれています。発症前は当然無症状なので、体調のわずかな変化を感じ取り、行動を自粛することで感染拡大を防止できます。

体温を毎日測り記録しておきましょう。通常の体温変化とは違う体温の上がり方をした場合は試合や練習への参加を控えましょう。また、咳、のどや頭の軽い痛み、倦怠感、味覚や臭覚の異常など比較的軽度な症状も重要なサインです。「試合や練習に行きたい」という気持ちは当然だと思いますが「勇気をもって休む」ことが自分や仲間を守るということを理解してください。

会場への往復で感染者に接触してしまうことも考えられます。往復の経路や時刻をしっかりと記録しておきましょう。

<具体的には>

- ・起床時に毎日検温し、記録する
- ・自宅出発時間、利用した交通機関、目的地到着時間など記録しておく（アプリを利用するのも有効である）

②手洗い（手指衛生）の徹底

以下の場面で手洗いを徹底する。手洗いは 30 秒以上行うように心がけ、可能な場合はポンプ式の液体・泡石鹸を利用する。手洗いができない場合は、アルコール等による手指消毒を徹底する。

- ・公共の場所から帰った時
- ・咳やくしゃみ、鼻を擤んだ時
- ・食事の前後
- ・陽性者のケアをした時
- ・外にあるもの、不特定の人が触っているものに触れた時

③以下の事項に該当する場合は試合会場に来場しない

- ・体調がよくない場合（軽度な症状でも）
（例：発熱・咳・咽頭痛・味覚障害・臭覚障害・倦怠感・頭痛などの症状がある場合）
- ・同居の家族や同居者に「陽性者」が出た場合
- ・入国後の自宅待機期間中の場合（詳しくは厚生労働省「水際対策に係る新たな措置について」をご覧ください）

④必需品の用意

- ・マスク（全員必須）
- ・消毒液
- ・体温計（連盟でも準備しますが、チーム用として）

⑤当連盟（試合会場含む）からの注意事項の確認および周知徹底

⑥移動時の注意事項

- ・いかなる手段においてもソーシャル・ディスタンスに留意し分散する
- ・移動中は必ずマスクを着用し、出発・到着時には手指消毒を行う
- ・遠征先で不特定多数との接触を避ける（外出・食事など）

⑦施設入場前に検温および体調チェックの実施

2. 試合会場入り～試合前／試合後～会場退館

①手洗い・手指消毒の徹底

新型コロナウイルス感染症では飛沫感染によって感染するといわれています。ソーシャル・ディスタンスを含めた3つの密（密閉・密集・密接）の回避を徹底し、こまめな手洗い・手指消毒を徹底しましょう。

<具体的に手洗い・手指消毒をするケース>

- ・試合会場に到着し入館する際（退館する際も）
- ・更衣室に入室・退出する際
- ・ウォーミングアップや試合の前後、ゲーム中の交代時など

②更衣室・休憩スペース使用に留意すること

更衣室を使用する前にドアノブやロッカーなど、手が触れる可能性のある場所はアルコールなどで消毒してから触るようにしましょう。

- ・更衣室、休憩スペースでの密を避け、会話を控え、滞在時間を短くする
- ・更衣室でも可能な限りマスクを着用する（不織布マスク推奨）
- ・更衣室使用後には複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカー取手、テーブル、イス等）は消毒を行う
- ・室内の換気扇を常に回し、2つ以上のドア、窓を開放して喚起を行う

※できるだけ換気をしながら更衣をしてください。難しい場合は、密にならないように距離を取りながら、素早く着替えて、更衣室にいる全員が着替え終わったら、窓とドアを開けて換気をし、次の方と交代するなどの工夫をお願いします。

③そのほかの諸注意

- ・トイレでは便器の蓋を閉めてから汚物を流す
- ・対面での食事はしない
- ・鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する際にはマスクや手袋を着用し、外した後は手洗いと手指消毒を必ず行う
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない
- ・会場指定の動線方向に従って移動を行う
- ・ミーティング、打ち合わせなどは必ず全員がマスクを着用し（不織布マスク推奨）、3つの密に考慮して行う

- ※多人数・長時間にわたるときはリモートなどを利用して行うこと
- ・そのほか主催者側（試合会場含む）が示す注意事項を遵守する

3. 試合中／オン・ザ・コート

試合前も手を洗い、清潔な手でコートに入りましょう。タイムアウトや交代でベンチに戻った際にはまず手指消毒をし、飛沫や汗をふき取ってから、水分補給をするようにしてください。

①ベンチ内での留意点

- ・サイドライン、ベンチにおいても適切なソーシャルディスタンスを心がける
 - ・試合に出場していない選手、スタッフはマスク着用の上（不織布マスク推奨）、会話や大きな声での指示や声援を控える
 - ・試合からベンチに戻る際にはベンチ最後列に着席し、呼吸を整え、水分補給をし、飛沫をぬぐう
 - ・他の席に移動する場合はマスクを着用する（不織布マスク推奨）
 - ・咳エチケットを守る
 - ・ボトル、ジャグタンク、クーラーボックス、タオルについては共有せず個人で使用する
- ※マスク、ボトル、タオル等個人で用いるものは個人用のカゴや袋等で他人のものと区別して管理しましょう。個人用のカゴや袋も他人が触れないよう取り扱いには注意しましょう。

②タイムアウト時の注意

- ・まず、手指消毒を行い、体についた汗や飛沫を拭きとりましょう
- ・密接しないように距離を取りましょう
- ・話すときは飛沫が人にかからないように距離や角度に工夫しましょう。可能であればマスクを着用してください（不織布マスク推奨）

③不要な接触はさける

- ・相手チーム、審判との握手は実施しない
- ・両チームベンチ、関係者席への挨拶を行わない
- ・円陣、ハイタッチ、抱擁を行わない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・コート上で会話をする際（チームメイトや審判）、距離について配慮する
- ・試合終了後にはベンチの消毒を行う

大会の参加後について

チームが敗退し、大会が終了したからと言って全てが終わったわけではありません。新型コロナウイルス感染症は、無症状のまま感染を拡大させてしまう可能性があります。感染者が出た場合に備えて、次の2点を忘れないようにしてください。

①行動記録

大会参加前後、大会中の行動についてデータをチームで管理する

②連盟への報告

チーム内で感染者、濃厚接触者、感染が疑われる症状が出た場合は、速やかに当連盟に報告する

新型コロナウイルス感染症には各個人ができる防止対策が何より重要です。以下の防止対策を常に日常生活から試合時においても徹底するようお願いします。大会を安全・安心に行うため、また無事に大会を終えるためには必要なこととなりますのでご理解・ご協力を何卒お願いいたします。

- ・ 3つの密〔密閉・密集・密接〕を避ける
- ・ ソーシャル・ディスタンスを保つ
- ・ こまめに手指消毒を行う
- ・ 常にマスクの着用（不織布マスク推奨）
- ・ 毎日の体調管理
（たとえ軽度の体調不良であっても外出、練習や試合への参加、試合会場への来場を控える）

以上

<連絡先>

関東大学女子バスケットボール連盟

Eメール：kanjyo.bsk@gmail.com

電話：03 5459 3557

2020年8月作成

2022年4月第3版改訂